

島根大学国際交流センター

■国際交流センター長 挨拶

出口 顕



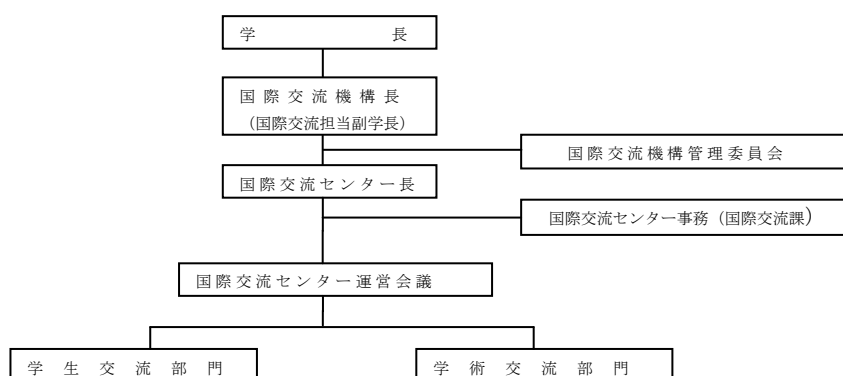
島根大学国際交流センターは、その前身である1998年開設の留学生センターの成果を受け継ぎ、2007年より多くの関係者のご協力を得て島根大学の国際交流事業を推進しております。その間、島根大学からの派遣学生や海外からの留学生を取り巻く環境は、超円高やリーマンショック等の経済状況や東日本大震災等の影響を受け、大きく変わりました。しかし現在は、減少傾向にあった島根大学への留学生数も回復しつつあり、島根大学から海外を目指す学生数も次第に増えています。

国際交流センターでは、島根大学憲章の精神に基づき、グローバル人材育成を目指して国際的通用性を養う講義を行うと共に、海外の協定大学や地域のコミュニティと連携しながら次の様な重点施策を推進しております。

1. 島根大学の重点教育研究分野において海外の先進大学群との戦略的ネットワークの構築
2. 島根大学から派遣する学生数や研究者数の増加
3. 海外からの留学生や研究者の受け入れ体制の強化

島根大学の学生や留学生の皆さんには、国際交流センターの活動を良く知っていただき、気軽に相談できるセンターとして利用して貰いたいと考えております。学内の教職員の方々には、国際交流事業にご理解とご協力をお願い致します。

■組織・機構図



■国際交流センターの業務

諸外国との相互理解を推進し、友好関係を深めながら、安定した国際関係の基礎を築いていくことが極めて重要な課題となっています。このような状況下で、本国際交流センターは関係機関と連携して次の業務を推進しています。

1. 国際交流に係る企画・立案及び実施に関する事。
2. 外国の大学との交流協定の締結及び交流推進に関する事。
3. 留学生及び派遣留学生に対する修学上及び生活上の支援活動に関する事。
4. 国際交流及び留学生教育等に係る調査研究及び情報収集に関する事。
5. 国際交流会館の運営に関する事。
6. 地域における留学生交流の推進に関する事。
7. その他センターの目的を達成するために必要な業務

■国際交流戦略の重点項目

1. 協定校との連携強化
2. 教職員・学生の英語力強化戦略
3. 海外への研究者・学生の派遣留学の拡大
4. 海外の研究者・留学生受け入れ体制の強化